

# 目 次

はじめに—本書の目的— v

## 第1章 国語と英語の相互理解に向けて…………… 1

1. プロフィール—世界の中の英語と日本語 2
2. 日本語は特殊な言語か 6
3. 日本語と英語の基本語順の違い 11
4. 品詞の対応 14
5. 品詞のはたらきの違い 19  
[コラム] 副詞が名詞を修飾する 25
6. 文法用語の対応 25
7. 本当は難しい「語」の定義 28  
[コラム] 品詞の判定 31

## 第2章 英語から日本語の動詞・形容詞を知る…………… 33

1. 英語の進行形と日本語のテイル形 34
2. 不規則動詞も特徴を知ると納得できる 41
3. 形容詞の不規則変化 50
4. 時制と相 52
5. 英語の助動詞と日本語の助動詞 57
6. 日本語の受動文と英語の受動文 62
7. 日本語の使役と英語の使役 66
8. 形容詞の派生 72
9. 連体修飾—日本語にある2種類の修飾構造 76
10. 形容詞の二つの用法 80

## 第3章 英語から日本語の名詞・代名詞を知る…………… 83

1. 主語とは何か 84
2. 日本語の「が」や「は」はすべてが主語ではない 86
3. 学校文法における主語の規定 90
4. 人称代名詞らしさ 92
  - [コラム] 意味の下落と意味の向上 97
  - [コラム] 使用頻度の高い語は短い 97
5. 人称代名詞の文法的振る舞い 98
6. 1人称代名詞の特殊な用法 101

## 第4章 空間と時間を超えて英語と日本語を知る…………… 105

1. 英語の仮定法と古代日本語の反実仮想 106
2. 母音の音声変化 109
3. 英語の歴史の変遷と日本語の歴史の変遷 114
  - [コラム] 古語的表現 120
4. 日本語の方言と英語—「来る」の方向性 121
5. 日本語の格助詞と英語の前置詞 125
  - [コラム] 歴史的变化としての「文文化」現象 129
6. 格助詞と接続助詞／前置詞と接続詞 130
7. 単数と複数の間 135
8. 消えた接続助詞の「に」 142
  - [コラム] 機能語としての助詞・助動詞 144

## 第5章 英語の表現と日本語の表現…………… 145

1. 動詞の「重さ」の違い 146
2. 英語も日本語も複文の順序を変えられる 151
  - [コラム] 英語は「名詞中心」か 154
3. 「使える英語」は「使える日本語」で 155
4. 「最も優れた学生の1人」はおかしいか 158

第6章 学校国文法の標準化に向けて……………	161
1. 文節とは何か	162
2. 自立語と付属語	169
3. 学校国文法には「目的語」がない？	174
4. 日本語の構文	183
5. 日本語教育における動詞の活用形	189
おわりに……………	193
参考文献……………	195
索引……………	199